

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 中野 正裕	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>研究</p> <p>(1) 「デフレの社会的費用」(2015年、附属産業研究所編『デフレーションの経済と歴史』第1章所収)で分析対象としたOECD各国のGDPギャップについて継続調査を行った。</p> <p>(2) 産業の設備稼働率に関する基礎調査とマクロモデルへの応用</p> <p>(3) 金融危機後の企業の投資行動と信用制約の関係(平均<math>q</math>の計測を中心に)</p> <p>※(2)(3)はH29年度大学院経済・経営研究科の論文指導資料として活用予定</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>教育</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 講義資料で活用する長期時系列データの平成23年基準への対応、資料整備</li><li>・ 講義資料で活用する国際収支統計の改訂にともなう資料整備</li><li>・ ポータルサイトを通じた演習(卒業論文作成)指導の改善(作成計画書と中間報告書の配布・回収と個別指導への活用)など</li><li>・ 特別講義「経済学」講義レポート評価、外部講師への対応</li></ul> <p>学内事務など</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 経済学科長として、学科カリキュラムや人事の取りまとめを行い、また高校生の大学訪問にともなう学部説明などの対応に従事した。</li></ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 出前授業 高崎健康福祉大学高崎高等学校(7/16) 前橋育英高等学校(11/17) 授業テーマ「大学で学ぶ経済学とは何か」について、高校生に授業を行った。</li><li>・ 学部学生の教育実習にともなう受け入れ学校の訪問指導(中尾中学校、10/20)</li><li>・ 地域貢献 NPO法人(DNA)が実施するキャリアプログラム(実施校:県立安中総合学園高等学校)への協力</li></ul>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 公表出来なかった研究成果について、平成29年度内の公表をめざす。</li><li>・ 講義・演習におけるポータルサイトの活用で一定の成果が得られたので、平成29年度以降、受講生に対して個別の助言・指導を充実されるよう、さらにポータルサイト等の情報ツールを活用して指導方法を工夫したい。</li></ul>	